



先月の山行

- ☆ 3月12日(日) 朝倉～高須山 山行報告参照
- ☆ 26日(日) 銀杏峰 山行報告参照

4月の予定

- ☆ 9日(日) サクラ登山会 妙法山～吉野瀬川
- ☆ 13日(木) 総会

- ☆ 15日(日) 大仏寺山

- ☆ 30日(日) 菅倉山 7時福井
CL 宮本重信

5月の予定

- ☆ 7日(日) 鷲走ヶ岳 6時福井
CL 宮本重信
- ★ 11日(木) 例会
- ☆ 27日(土) ハイキング講座
- ☆ 28日(日) 奥獅子吼
CL

遭難対策基金1000円年会費6000円

を致します。

山行申込み方法

- ・山行申込みの基本は例会時です。
(都合により例会に出席できないが、山行込みをした場合は、例会当日20時半頃、宮本の携帯090-8260-8108へ連絡してください。)
- ・例会時に未定であったり、山行申込済で都合によりいけなくなった場合は、前々日夜までに山行リーダーへ直接連絡してください。

山行計画書を提出して下さい

クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

朝倉山、高須山

日時 2017年3月12日



福井7時集合し途中スカットランドで合流、足ならしに朝倉山へ、ゆるい傾斜を登る事20分、山頂には戦時中敵機を見つける櫓が組みられその上からの眺めは空が大半、幸せの鐘も鳴らして下山。その後高須山に向かい休校になった小学校の横の農道を行くと畦道にはふきのとう、田んぼにはおたまじゃくし春を感じつつ林道を少し行くと駐車場があり途中まで車でも行けるようです。頂上付近には鷹須城跡の説明カンバン頂上は広く真っ白な雪その向こうも真っ白な白山連峰、反対側は日本海臨海の備蓄タンクが点々と海のその向こうは方位盤によるとモンゴル(ウランバートル)の表示、何か関係があるのだろうか・・・少し早い昼食に伴藤さん特製の豚汁に舌鼓、少し遅れてきた鈴木さんも皆で完食！下山途中子連れのお母さん達に会い元気に登って来る子供達、今時のお母さん達いいね！
登り40分 下り25分



個人山行
3月5日
持籠谷山

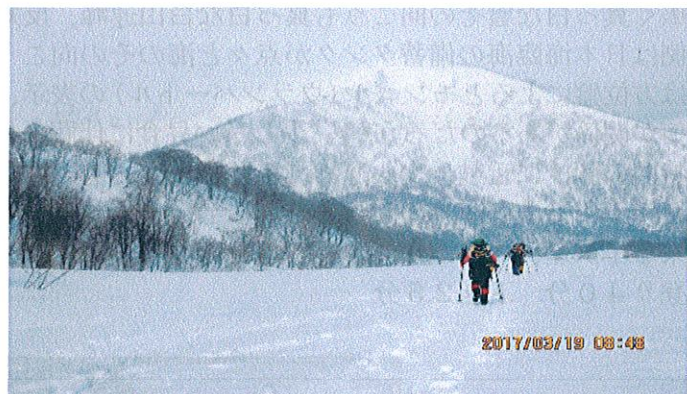


編集後記

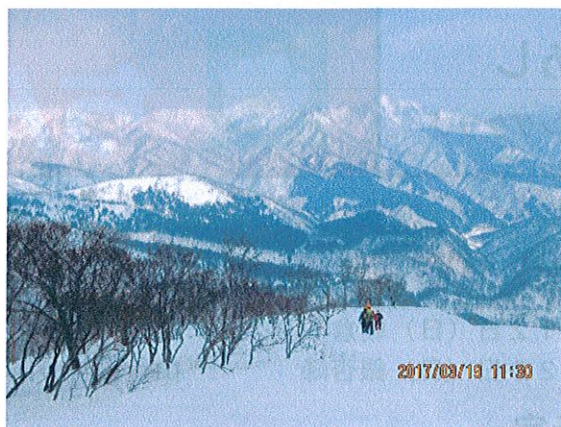
4月2日 さくらラマソン大会にて [redacted]
さんが10k部門1位になりました。おめでとうございます
います♡

3月19日(日) 野伏ゲ岳

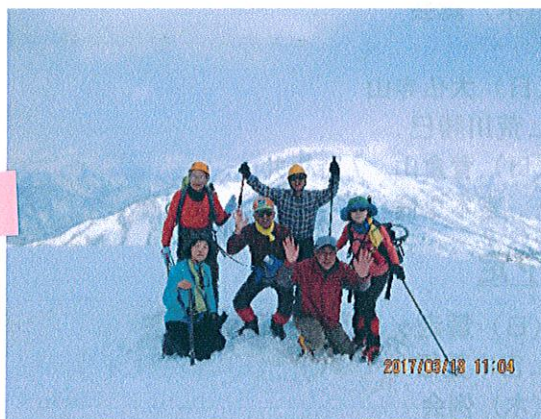
[redacted]
7時40分頃白山中居神社駐車場に着く 駐車場には
み出すくらいの沢山の車(3~40台)
すでに登頂しているようだ。



和田山牧場跡より目の野伏ゲ岳



山頂より、和田山牧場跡目がけ、一直線に下山

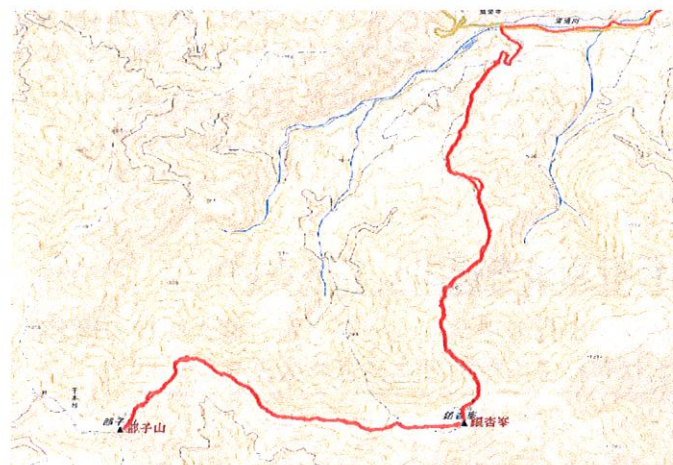


山頂にてハイポーズ!!

最高の景観に超感動!登りはもう無理かも、最後か
も思いながらも振り返ればまた行きたいと思う。14
時駐車場に着いた。クロスカントリースキーに人気と
あって一気に滑り降りたのか車はほとんど帰っていた

3/26 山行報告

銀杏峰 1441m (部子山 1464m)



雪研 6:00

スタート 7:00(宝慶寺いこいの森駐車場)

↓3時間2分

銀杏峯 10:02 食事 10:40 (38分)

↓1時間6分

部子山 11:46 - 11:52 (6分)

↓1時間2分

銀杏峯 12:54 - 13:02 (8分)

↓1時間12分

ゴール 14:14

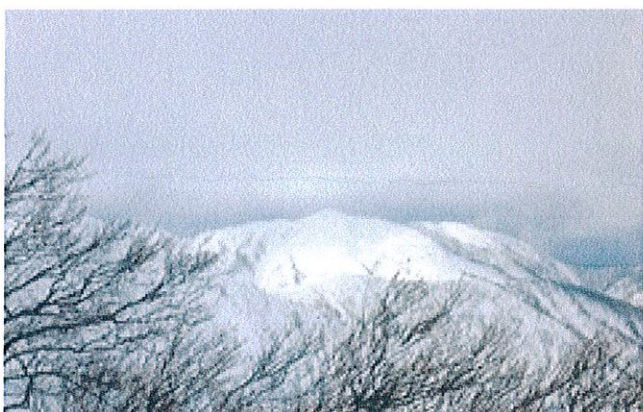
活動時間 7時間 14分・活動距離 13.2km・高低差 997m

※10:40以降は最長ルートの数値です。

春分も過ぎ、暦の上では一気に春を迎える時節だが、今年は寒気が時折影響し「梅がいつもより長く咲いている」などの特徴が街でもみられる。この日も山頂は氷点下。予報は曇後雨。ただ、4月を目前にして部子山まで行けたのも、こうした不順(?)のおかげかもしれない。

スタートしてしばらくは時折晴れ間もあった。開花したマンサクが、開いてはみたものの、寒気でストップかけられているようにも見受けられる。名札のある松は、明らかに枯れているものもあった。福井でも松枯れ範囲は拡大していると感じる。止められない事象なのだろうか・・・

前日が好天で、部子山まで足を伸ばした方がいた模様。このおかげでトレースがあり、部子山往復の助けともなる。

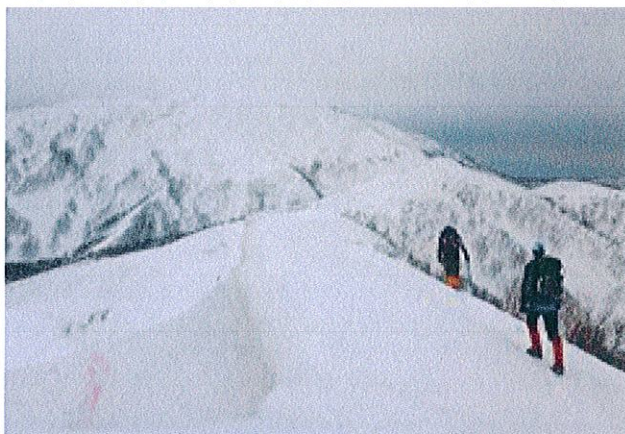


(往路、前山付近からの部子山頂)

銀杏峰山頂の祠は厳冬真っ只中で、エビの尻尾重層状態だった。



昼は辛みの効いたラーメンをいただいた。氷点下で風もあり、品なく(元々無いが・・・)「がっついて」美味しくいただきました。食後は各自の裁量による事となり、私は部子へ向かう方達について行った。



(ガスではっきりしないピークが部子山頂)

銀杏峰と部子山を結ぶ稜線は起伏が激しい。200mの高度を一気にかせぐ最終急登も強烈だったが、復路もかなりの登り返しとなる。なので往復の時間がほぼ等しい。「部子山は遠い」と敬遠される時は、こんな事情も影響しているだろう。

個人的初体験は、部子からの復路での「ホワイトアウト」だ。30m先が視認不可となった。映像に記録しようと携帯を手にしたけどやめました「何も写らないに違いない!」。ベテランさんが同行されてる事、足元にははっきりとトレースがある事などから恐怖は感じなかったが、条件次第ではパニックになるだろうと容易に想像できた。

思いもよらぬ降雪にも見舞われ、銀杏峰からの下りでは沢山の尻セードも堪能。濃い7時間でした。みなさん、ありがとうございました。新年度も「遊びをせんとや生まれけむ」と参りたいものです・・・